



JIN-AI UNIVERSITY

English
Education
Center

TOPICS

- Overseas Programs :
Eight-week & Two-week
- Halloween Event on 10/17
- Guest Lecture on 11/26
- Visitors from Australia
and India on 01/18
- Future Plans

e-center NEWS

March 2016 Vol. 8

Jin-ai University
English Education Center
3-1-1 Ohde-cho, Echizen City
Fukui Prefecture 915-8586
TEL : 0778-27-2010 FAX : 0778-27-1990
HP : http://www.jindai.ac.jp/

2015 Jin-ai University's Overseas Programs

2015年度 本学留学プログラム

本学留学プログラムには、姉妹校であるカリフォルニア州立大
大学(California State University, Fullerton, 以下CSUF)
にて研修を行う8週間の「海外語学研修」と2週間の「フィール
ドワーク演習(国際交流)の2つのプログラムがあります。(人
間学部にて開講)今年度参加者に自分の留学体験について
語ってもらいました。



Interview with Eight-week Program Students 「海外語学研修」参加者へのインタビュー

Department of Psychology Akari Kimura
Department of Communication Nodoka Sasaki

Q 留学を決めた理由は何ですか。

N 英語を学びたかったし、就職活動等将来を考え、精神的に強くなりたい。また、大学生活で思い出に残る経験をしたかったから。母に相談した時に、「いい経験になるよ」と背中を押してくれました。

A 大学に入る前から留学したいと考えていました。説明会に参加して、「ホームステイが楽しそう!」と思って。不安も多かったですが、周りに相談した時に、私の場合も留学経験のある友達や、家族が応援してくれました。



Q 留学を考えた時、周りの人に相談することがとても大切ですね。留学中、印象に残ったことはありますか。

N バスが時間通りに来ないこと。遅かったり、速かったり…。5分前にはバス停にいました。

A ホームステイ先の食事の量が多かったことですね。一度に沢山料理して、作り置きを1週間かけて食べるような感じ。韓国人とドイツ人のルームメイトがいて、食事と一緒に学校まで送迎してくれたのでルームメイトと一緒に過ごす時間が多かったです。

N 私は食事なしのプランだったので、鍋でご飯を炊いて冷凍保存していました。韓国人のルームメイトに「お米の炊き方を教えてほしい」と言われました。私の家は皆帰る時間がばらばらでした。



Q 留学して結果的に満足ですか。

またこのプログラムに要望等がありますか。

N はい!満足していますし、皆に勧めたいです。今となっては夢のような時間でした。

A 大学(姉妹校)の授業を受けたかった。留学期間は半年ぐらいあるといいですね。

NA 休学しての留学は考えていなかったのですが、このプログラムは自分に合っていたと思います。

Q 英語を学ぶメリットは何だと考えますか。

N 英語が読めるたり聞けたりすると、より多くの情報を得ることができます。英語が話せるとかっこいいです!

A 留学中、授業でディスカッションをした時に、他の国の人の意見をきいて、「こんな考え方もあるんだ〜。」と思いました。英語を通して自分の意見を伝えることで自信もつきましたし、視野が広がることですね。



Personal Growth on the Two-week Program 「フィールドワーク演習(国際交流)」を通しての自分の変化

Department of Communication Asami Nakamura

この2週間プログラムが私にとって初めての海外経験で、出国する前は緊張と不安に思うこともありましたが、実際に自分で現地の様子を肌で感じ、様々な発見をする中で自分を成長させることができたように思います。

特に、結論を日本に比べて白黒はっきりつけようとするという文化に驚きました。姉妹校の学生と話をした際に、「結局、Yesなの?Noなの?」とよく聞かれ、自分がいかに普段自分の意見をあいまいにしてきたかということに気づきました。普段白黒はっきり返答することに慣れていないため、私にとって少しハードに感じましたが、現地であるべく自分の意見をはっきり伝えよう心がけていたおかげで、帰国してからの心がけも、変化したように感じます。

私は、以前までは自分の思いを口に出すことはよくないことだと考えていて、発言することに消極的だったのですが、帰国してからは、話すことに積極的になることができました。その成果もあってか、帰国後友人からは、明るくなったと言われることが増え、以前より成長を感じ、今回の留学プログラムに参加して本当に良かったと思いました。

帰国してからも現地の友人やホストファミリーと連絡を取り合い、海外に繋がりができたことを大変嬉しく思いますし、毎日英語に触れることにも喜びを感じています。現在は、この研修で学んだことを生かして、個人で長期留学にも挑戦したいです。



Message from CSUF Students

カリフォルニア州立大学フラトン校 日本文化部の学生からのメッセージ

仁愛大学から来た学生の皆さんとの交流は、私たちにとって海を越えて大切な友達を作ることのできたとても思い出深く、有意義な交流となりました。ボウリング、ビーチ、ロッククライミング、ダウントウンディズニーなど、アメリカという土地を、短い期間でも皆さんに楽しんでもらえたかと思いますが、言語交流会やたこ焼きパーティーは、私たちにとっても日本の文化を学ぶ良い機会となりました。新しい出会いを楽しみに、また仁愛大学の学生さんが来られるのをお待ちしております!

CSUF Yuki Chen

The Jin-ai University visit to CSUF last September was a pleasant experience. We all learned so much from each other in just a short time. We will never forget cooking and eating the Japanese food that we made together and celebrating two of the Jin-ai University students' birthdays with cake and singing. The Japan Culture Club (JCC) members were also very excited to get the chance to speak to the students and share

American culture with them. We all enjoyed singing a farewell song that a JCC member wrote to represent all of the great fun we had. I hope that more students from Jin-ai University and CSUF will continue exchanging cultures and becoming great friends.

CSUF Amy Tsu

Halloween Event on 10/17

学祭でのハロウィンイベント



10月17日(土)世灯祭1日目、英語教育センターで「ハロウィン・パーティー」を開催しました。「トリック・オア・トリート!」を合言葉に、キャンディ等のお菓子を来場者にプレゼントし、ハロウィンの仮装で写真撮影をしました。今年は、学生スタッフがハロウィン風デザインのシールタワーを制作し、来場者の手や顔に貼り、世灯祭会場での英語教育センターPRにも取り組みました。シールタワーを見て興味を持った方が来場してくださり、英語教育センター来場者の増加も実感できました。学生スタッフは「ウォーリーをさがせ!」のウォーリーを意識した服装をし、中には立派な仮装をして来場される方も見られ、E-Loungeが盛り上がりたくさん写真を撮る光景が見られました。

ハロウィン・パーティーを企画して見て年齢を問わず簡単な英語に触れるきっかけを作ることができまし、英語教育センターを知ってもらえる良い機会となりました。今後も、英語に楽しく触れられる機会をもっと企画していきます!



Yuta Sakamoto
Student Staff
English Education Center

Guest Lecture on 11/26

招待講義「国際協力と異文化理解」

11月26日(木)、JICAのシニアボランティアとして、ラオスで過ごされたご経験のある奥村祥子さんをゲストにお迎えし、異文化理解をテーマに招待講義を行いました。奥村さんは福井市の国際交流協会ボランティア部会、姉妹都市交流委員として交流事業に携わっていらっしゃいます。この講義では、JICAボランティア事業について、ご自身がJICAのシニアボランティアとして2011年から2年間過ごしたラオスでのご経験を主にお話しいただきました。

ラオスの紹介として、地図を見せていただき、面積は日本の本州ぐらいであることや人口630万人、49の多民族国家であることなどをご説明いただきました。また、ラオスの医療事情、市場の様子や結婚式の様子など、写真を交えながら説明していただきました。講義後には、ラオスの民族衣装も見せていただきました。講義後には奥村さんを囲んで質疑応答の時間を設けました。参加者はJICAやラオスについて積極的に質問していました。

JICAのボランティアとして任地に派遣される前には、集中的な語学研修を受けるそうです。奥村さんは「英語はもちろん、もう一つ別の外国語にも興味を持って学んでみてください。」とお話しされていました。



Visitors from Australia and India on 01/18

インド・オーストラリア青年受入行事

The English Education Center hosted a group of 21 visitors from Australia and India on January 18th. In the morning several Jin-ai University students met our guests at *Washino-sato* in Imadate and enjoyed making traditional paper together.



Afterwards, the guests were treated to a wonderfully energetic *wadaiko* performance at the university. After a greeting from President Masanobu Toku and exchanging gifts between the university and the visiting group, our guests and students had the opportunity for more cross-cultural exchange activities while eating a delicious buffet lunch.

The event was truly a fun and enlightening experience for everyone. Thanks to all the participants!

English Education Center Events of the first Semester

April 4
◆ CASEC (Placement Test) for first-year students
◆ English Education Center & NetAcademy2 Orientation for first-year students

May 5
◆ Guest Lecture

June 6
◆ TOEIC IP
◆ Tourism English Proficiency Test Preparatory Class
◆ Easy English Conversation Community Classes
◆ Open Campus

July 7
◆ Easy English Conversation Community Classes
◆ Open Campus

August 8
◆ Summer Event
◆ Open Campus



We will post the dates and details at a later date. Don't miss it!



JIN-AI UNIVERSITY

English
Education
Center